

「ありがとう、の言葉が 原動力になって」



設楽 美幸氏

在校 深谷大里看護専門学校
*2年課程通信制

准看護師を25年経験し、一念発起して施設で働きながら看護師を目指した設楽美幸氏。その原動力を伺いました。

◎看護師を志した理由

准看護師になり25年になります。准看卒業時に看護師への進学を強く勧められましたが、通学条件が合わずに進学しませんでした。

現在働いている高齢者の施設では、自分達の日頃の観察が判断に繋がります。そこを学ばせてもらったのが看護師の視点でした。結婚や出産、子育てしながら学費を捻出すること、育児と両立することなど不安は尽きませんでした。何年か過ぎてこのままではと思い、とりあえず門を開けてみようと思いました。子どものこともあるのにできるかな、同居の父母は大丈夫かな、と不安を持ったまま学校説明会に参加しました。しかし、先生方といろいろな話をし、背中

を押していただきました。目標を持って資格取得のため入学しました。

◎進学のモチベーションを保てたのは

異変に気付くだけでなく、何が原因で起きているのか一早く察知して対応できれば、利用者さんが苦痛なく過ごすことができます。例えば、バイタルサインは問題ない、でもちょっと呂律がまわらない、明らかに普段の状態に比べておかしいと判断し、それにより異常の早期発見につながっていきます。そういう判断を先輩の看護師さんから学びました。根拠などを学びたい、判断につなげたいと思いました。

◎仕事と学びの両立で工夫されたこと

朝ご飯は絶対自分が作る、仕事や学校の日の夕飯は義母に協力してもらい、自分の時間を作って子育てと仕事の両立を工夫しました。朝型なので朝ご飯を作る1時間前か1時間半前に起きて勉強を進めました。朝食後子どもを送り出すまでの1時間弱でテキストの穴埋めをすとか、朝は深掘りできないですけど、課題の提出期限に間に合うように時間を割いています。

◎想像していた学生生活との違い

施設は、何かあると休みでも夜間帯でも連絡があり、時間を作るのは大変です。今日やろうと思ったことが進まなくても、自分を責めないで、またこの次ここまでできればと割り切り進めています。通信は、強い気持ちを持ってやらないと大変なことになると思いました。

私は有休を使ってスクーリングしている状態なので、スクーリングは少ない方がいいと思っていました。しかし実際はスクーリングが少ないことは、自己学習を計画的に進めなければならないことに入学してから

ら気づきました。奮い立たせるためには、スクーリング以外にも学校に行って刺激をもらったほうがいい。その人その人に合ったやり方があると思いますが、私は刺激があったほうが頑張れます。登校すれば、先生が相談に乗ってくれます。

◎どんな看護師になりたいですか？

通学前には、看護師になったら病院で知識を身に付け、認定看護師も目指したいと思ったこともありました。しかし、今は現在の職場で利用者さんと職員からの信頼を大切に、学校で得た知識を活かし、入居している利用者さんが健康で安全安心に生活ができる場を送れるよう、一緒に解決出来たらよいと思うようになってきました。

自分の接し方や行動によって、相手の反応も違い、頂ける信頼、言葉も変わってくると思います。私はそんな看護師になりたいです。

◎モチベーション維持の方法は？

「ありがとう」の言葉です。ありがとねって言われるとうれしいです。利用者さんが不安になり体調を崩すことがありますが、連休をとると「辞めちゃったの？」「どうしたの？」「体調崩しちゃったの？」って言うてくださる方もいて。「あんたの顔見るとほっとするよ」って言われるだけで、何もしてないけど、ありがとって。そういうのがうれしい、励みです。

◎進学しようとしている人へ、メッセージ

医療の進歩により正常値の基準が変わるなど、現場にいるだけでは気づけないことがあると進学してから気づきました。学習は、自分のスキルアップに繋がると思います。迷っている方がいるなら、ぜひ学校説明会に行ってみてください。行きたい、どうしようかと迷っていても、実際説明会に出向いてみるのがステップアップにつながると思います。

メッセージ

家庭のこと、仕事のことで両立するのは大変かと思いますが 自分のやるべきことを見失わずに頑張っているの、仲間を大切にしつつ、この調子で卒業と国家試験の合格を目指していきましょう！

看護師となり活躍する未来に向けて、設楽さんらしくコツコツ積み上げていきましょう！

深谷大里看護専門学校 2年課程通信制
教務主任 山岸 曜子